



2020年5月27日

各 位

会 社 名 日本アンテナ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 瀧澤 功一
コード番号：6930 東証JASDAQスタンダード
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 清 水 重 三
TEL 03-3893-5221

2020年3月期通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2020年3月期の連結及び個別決算において、2019年5月14日に公表いたしました業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値の差異

(1) 2020年3月期連結業績予想値と実績値との差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	17,300	640	590	450	41.00
実績値(B)	16,535	784	768	497	45.35
増減額(B-A)	△764	144	178	47	—
増減率(%)	△4.4	22.6	30.2	10.6	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	16,692	1,135	1,054	1,090	93.86

(2) 2020年3月期個別業績予想値と実績値との差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	16,600	600	580	450	41.00
実績値(B)	15,730	704	726	464	42.31
増減額(B-A)	△869	104	146	14	—
増減率(%)	△5.2	17.4	25.2	3.2	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	16,121	1,068	1,007	1,032	88.94

2. 業績予想との差異の理由

2020年3月期の連結業績につきまして、2019年5月に公表いたしました前回予想と比較いたしますと、まず放送関連機器の販売に関しては、家庭用テレビ関連機器は、事業譲受による売上の伸びが寄与したものの、期初の想定と比較すると弱含みでした。他方、CATV事業者向け機器は好調でありました。通信用アンテナにつきましては、通信モジュール用アンテナは前連結会計年度比では堅調であったものの、期初の想定に比べて若干の伸び悩みがありました。一方、官需向けデジタル無線用アンテナは総じて好調に推移しました。関連工事につきましては、主力のビル内共聴工事が期初の想定には至りませんでした。この結果、連結売上高は、前回の予想値を下回りました。

利益面につきましては、従業員株式給付信託の導入に伴う費用の発生や投資有価証券評価損がありましたが、業務の効率化やコストダウンへの取組を継続して行ったこと等により、営業利益、経常利益や親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回りました。

なお、個別業績につきましても、同様の結果となりました。

また、配当予想につきましては、一株当たり21円の予想を据え置いております。

以 上